

授業科目 コミュニケーション論

【担当教員名】 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	○	○

【一般目標：G10】
 コミュニケーションの基礎理論、概念を日常の具体例を用いながら学ぶ。個人内、対人、小集団、組織、マスメディアなど様々なレベルでのコミュニケーションについて、言語、非言語の両側面から考察し、コミュニケーションとは何であるかについて理解を深めていく。意味構築、関係性の追求というコミュニケーションを語る上で欠かせない根本的な視点を意識することによって、個々人の日常生活や将来就くであろう職業での様々な状況において、学習した内容を反映させることができる素地を作ることとする。

【行動目標：SBO】
 1. コミュニケーション理論を理解する
 2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1.2	講義
2	影響力について考える	1.2	講義
3	シンボルとメッセージ	1.2	講義
4	意味構築	1.2	講義
5	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション	1.2	講義
6	個人内コミュニケーション	1.2	講義
7	対人コミュニケーション	1.2	講義
8	対人コミュニケーション	1.2	講義
9	集団とコミュニケーション	1.2	講義
10	組織とコミュニケーション	1.2	講義
11	マスコミュニケーション	1.2	講義
12	インターネットとコミュニケーション	1.2	講義
13	文化とコミュニケーション	1.2	講義
14	日常の事例の分析	1.2	講義
15	まとめ	1.2	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	入門コミュニケーション論	宮原 哲	松柏社	2009・2,300円
	よくわかるコミュニケーション学	板場良久、池田理知子	ミネルヴァ書房	2011・2,500円+税
	よくわかる異文化コミュニケーション	池田理知子	ミネルヴァ書房	2010・2,500円+税
その他の資料				

【評価方法】 授業での発言、出席状況、コメントシート、レポート試験により総合的に評価する	【履修上の留意点】 講義形式ではあるが、意見、コメントを授業中に求めることがある。積極的な姿勢で参加すること。
---	--